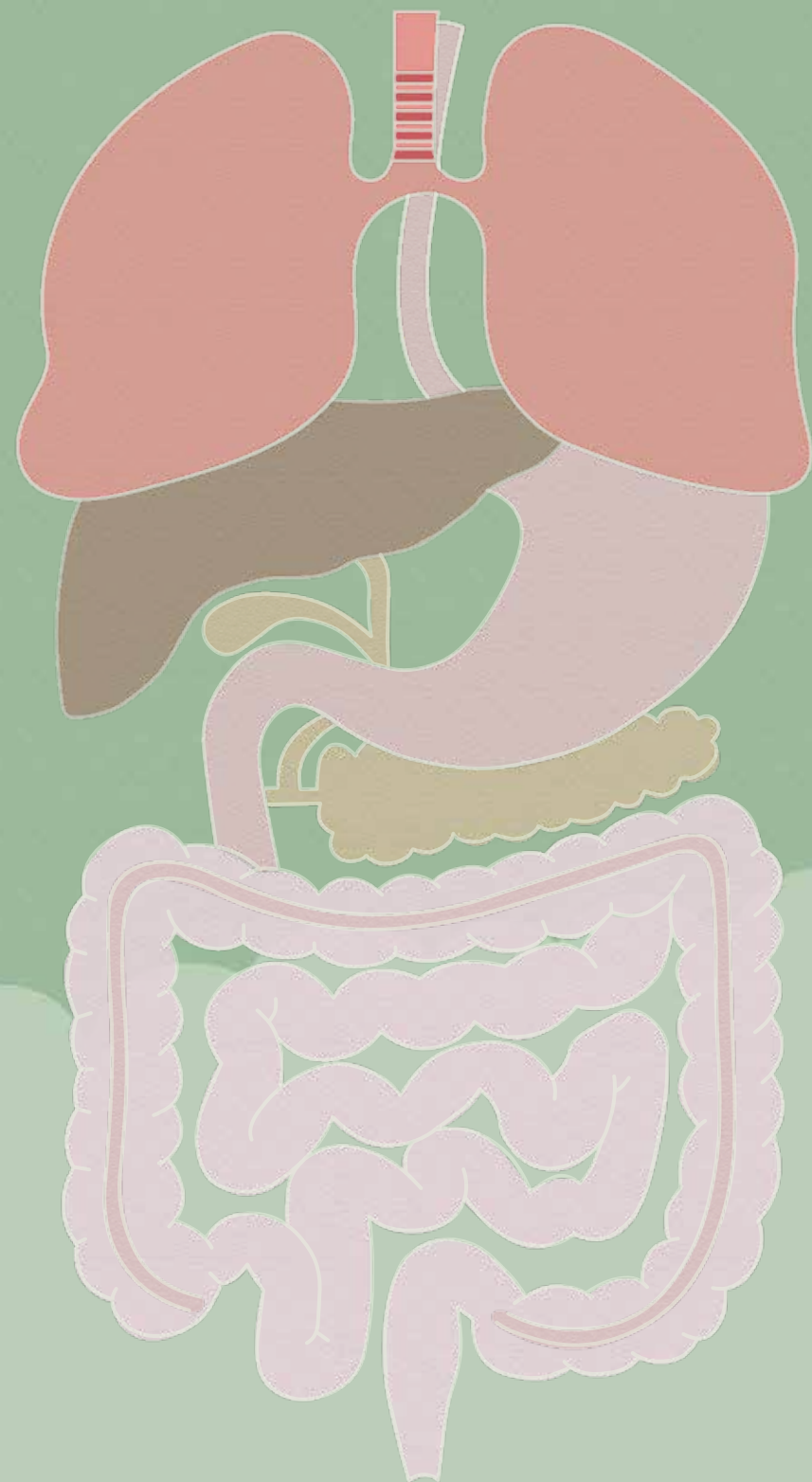


がん診療拠点病院としての責務

患者さんと地域に向き合う外科診療



Rapport

ラポール

Asahikawa Kosei Hospital

診療科特集/外科

2025
11

外科新体制始動に向けて！

What should I do? 患者さん紹介

連絡先

旭川厚生病院 地域医療連携室

つながる **窓** つなぐ **口** つなげる

① 地域医療連携室

0166-33-7575 (直通)

●受付時間: 平日8時30分～16時30分

② 代表電話

患者さんの紹介であることを
電話交換にお伝え願います。

0166-33-7171

●受付時間: 平日8時30分～16時30分

※1 ①の直通電話が話中の場合は、②代表電話に電話をいただくことで電話交換から地域医療連携室担当者へ取り次ぐようにいたします。緊急を要する場合は各科診療科へ繋ぐようお願いください。

※2 時間外の場合は、救急外来(代表電話)へご相談ください。

繋がる



Rapport
Asahikawa Kosei Hospital

J A 北海道厚生連 旭川厚生病院

旭川厚生病院 検索

〒078-8211 北海道旭川市1条通24丁目111-3 TEL.0166-33-7171 FAX.0166-33-6075

「Rapport (ラポール)」とは、フランス語で「つながり」「架け橋」、心理学用語で「信頼関係」を意味する言葉です。本誌は、旭川市のシンボル「旭橋」のように地域の皆様と当院がつながり、信頼関係を築けるような広報誌を目指します。

取材・編集 / 東洋株式会社 旭川支店



外科



Instagram
アカウント名
asahikawakosei_hospital

外科

感謝を胸に、新体制の始動に
向けて準備を開始

（地域とともに歩む外科の新たな一歩）

平素より、当院の診療体制につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、外科・乳腺外科・緩和ケア科を長年に渡り牽引してまいりました、赤羽弘充副院長が25年間の勤務を経て、令和7年11月末日をもって定年退職いたします。これまでご支援いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

12月からは新体制のもと、これまでの実績と理念を継承し、外科医療の質向上と安心・信頼される診療の提供を継続してまいります。

今後とも地域の先生方との連携を大切に、患者さん一人ひとりに寄り添う医療を推進してまいります。

『コロナ禍以降日本の医療事情は
厳しさを増している』

2010年をピークに日本の人口は減少に転じ、75歳以上の人口は2050年まで増加するとされている。

るものの、上川中部では2030年には減少に転じ、生産年齢人口の著しい減少もあって、入院患者は今後減少の一途を辿ると予想されています。外来患者数はすでに減少しており、2025年9月27日の新聞報道では道内自治体病院の患者数が2023年度には対2018年度比較で最大25%減少しています。公表された20市立病院すべてで減少しており、4病院で20%以上減少し、市立旭川病院は14.6%の減少と報道されました。きっかけはコロナ禍における受診控えの継続とみられています。人口減少や医師不足も影響していると考えられています。

赤字になったことも調査報告されています。

今後の医療情勢を見ると、85歳以上の人口が増加する中、急性期医療（例えば「がん」のニーズは減り、肺炎・骨折・心不全・脳梗塞などの繰り返しイベントとしての疾患領域の必要性が増加すると推測されています。

旭川市内に目を転じると、旭川医科大学、旭川赤十字病院、市立旭川病院、旭川医療センターに当院を加えた5基幹病院が市内の急性期医療を担っていますが、いずれの病院も収益の確保に苦慮しています。各病院に特色はあるものの、当科で主力としている消化管・

肝胆膵領域は「パイの取り合い」状態です。患者減少の中、各病院がしのぎを削る現状を「共食いのチキンレース」と評する研究者もいます。

消化管領域は腹腔鏡やda Vinciを駆使した低侵襲手術が主流であり、各病院で切磋琢磨しています。当院では肝胆膵領域で高難度手術手技修練施設認定を目指して更なる症例の集積を目指しています。呼吸器外科も1名体制ながら、外科全体でバックアップすることで多くの症例の手術をこなすことができています。世の中で患者数が増加している乳腺疾患は市内で専門としている医療機関も限られていることから当院の役割は大きいと考えています。

Work history

副院長 外科
赤羽 弘充 プロフィール

・日本外科学会専門医、指導医
・日本消化器外科学会認定医
・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
・Certificate of da Vinci System Training
As a First Assistant

卒業
1987年 北海道大学
1991年 北海道大学大学院

1991年 帯広協会病院
1993年 中標津町立病院
1995年 北海道大学病院
1997年 函館協会病院
1998年 深川市立病院
2000年 旭川厚生病院



転じた現病院も築37年を超え老朽化しており、病院の新築移転構想がある中、物価・資材高騰の煽りを受けて難渋しているのが現状です。市内の基幹病院と協力し、一次医療機関の受け皿

として旭川市の急性期医療を担う責務を全うすべく、今後がん拠点病院として鋭意努力していく姿勢に変わりないことを明言して、当院外科の紹介をさせていただきます。

植木 伸也

これまで培ってきた実績を土台に
新たな目標に向かい歩み始める



外来から入院、手術・術後管理まで、
地域に信頼される外科チームが支えます

当院外科では、常勤医10名、研修医1〜2名で、
外来1日平均70名、入院病床42床を担当しています。
手術は毎日対応しており、定期・臨時・緊急
手術も可能な範囲で受け入れています。混雑時
でも、患者さんにわかりやすく丁寧な説明を行
い、納得の上で治療を進めています。

今後の外科の展望と抱負

このたび、赤羽先生の後任として赴任しました。
2025年10月現在でおよ
うど半年が経過しまし
が、今まで長く当院を牽
引して来られた先生方が都
度変更し改革してきたこ
とを踏まえ、現状うまく
いっている部分を維持し
つつ、新たに強化すべき部
分を積極的に充実させ、発
展させていくことを目標
に、外科主任部長の腰塚医
師はじめ、外科メンバーの
助けをもらいながら少し
ずつ進めております。外科
メンバー一人ひとりが高
度なパフォーマンスを行
うために必要なものは、
心・技・体であり、この3つ
が噛み合うことで理想に
近づけることができます。
心身ともに充実した外科チームの



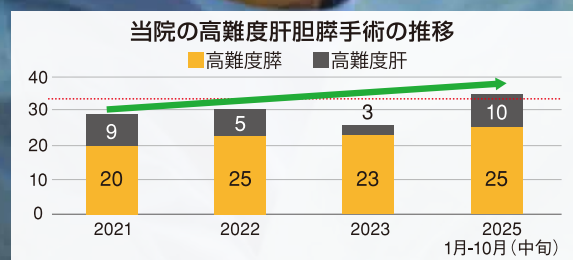
メンバーが真摯に、患者さ
んの診療と自らの技術向
上に向き合える環境を整
え、部署間の連携さらには
地域の医療機関の先生方
との連携がよりスムーズ
になるよう尽力していき
たいと思っています。
大変な中いつも笑顔で頑
張ってくれている外科のメ
ンバー、患者さんご紹介
くださったり、いつも相談
に乗ってくれる他科の先生
方、いつもしっかりと助け
てくれる医療スタッフの
方々、病院運営を頑張っ
てくれる事務の方々、この病
院を選んで自分の体の治
療を我々に託してくださ
る患者さんとそのご家族、
そして患者さんを紹介し
てくださる地域の医療機
関の先生方、こういった関
わりのあるすべての皆様
への「感謝」と「尊敬」の念
を常に持ちつつ、「地域の」
「病院スタッフ全員によ
る」「患者さんのための」診
療を続けて参りたいと考
えております。



肝胆膵

Your Health, Our Priority

精密な設計と再建で 挑む、“医の建築”としての 肝胆膵手術



肝胆膵の手術はフルオーダーメイド建築に似ています。肝胆膵領域は解剖構造の変異が非常に多い上、病気の進展具合によってもやり方を大きく変える必要があります。患者さんは手術を終えた後、その新しく組み直した体の中で長い期間を過ごすことになります。

手術前の設計図 (fig.1)

手術記録 (fig.2)

除)と同時に、一生暮らすに足る形にする(再建)必要があります。肝胆膵の手術でこれら2つを両立させるためにはミリ単位の綿密な駆け引きがいくつも必要となり、手術中の判断だけで最適解を得ることは非常に困難です。そのため、術前のシミュレーションが非常に重要で、詳細な設計図を描くことも多くあります(図1)。術中の分岐点が存在する場合はそれぞれ可能な限り何通りも設計します。このようにして手術に入れば、多くの場合はほぼ予定通りに事が進みますが、人の体の中の事ですので、全てそうはなりません。予想を超えた状況になった際は、引き出しを最大限に使って対応します。そしてその患者さんに施した手術の内容は、手術記録に再現性のある形で詳細に記され

ます(図2)。

「手術してよかった」といつていただけるように一人ひとりの患者さんと向き

合ってその患者さんにとっての最適解を探ることを日々積み重ねていくことが最も重要と考えております。

地域の連携医療機関さまへメッセージ

今までの長い期間、肝胆膵の手術を請け負う中で非常に多くのことを学ばせてもらいました。教科書には載っていないような細かいけれど重要な気付きや向き合う姿勢などが、自分自身の大きな財産になっております。これらを若い外科医と共有しながら患者さん一人ひとりにしっかりと向き合い、日々粛々と診療していく所存です。より高難度の肝胆膵手術や腹腔鏡下の肝胆膵手術も承っておりますのでぜひご紹介いただければ幸いです。



Work history

外科 診療部長 植木 伸也プロフィール

- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
- ・インフェクションコントロールドクター
- ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon

- 1998年3月 北海道大学医学部 卒業
- 1998年4月 北海道大学医学部第一外科入局
北海道大学病院
- 1999年4月 札幌南病院
(現KKR札幌医療センター)
- 2000年4月 岩見沢市立病院
- 2001年4月 北海道大学病院
- 2003年4月 北海道大学医学部第一外科
研究員
- 2006年4月 札幌厚生病院
- 2007年3月 北海道大学大学院医学研究科
高次診断治療学博士課程修了
(医学博士号取得)
- 2007年4月 アメリカ ピッツバーグ大学留学
- 2010年4月 市立稚内病院
- 2013年4月 札幌厚生病院(医長)
- 2015年4月 市立函館病院(医長)
- 2020年4月 JCHO北海道病院(医長)
- 2025年4月 旭川厚生病院(診療部長)

食道から直腸まで。先進技術と連携で、あなたに最適な治療を

消化管

食道～直腸

Your Health, Our Priority

チームで医療を支える。
低侵襲・確かな
消化管がん治療

食道から直腸までの消化管がんに対し、鏡視下手術やロボット支援手術など先進的な手術と、化学療法・放射線療法・緩和ケアを含むチーム医療による集学的治療を提供しています。」

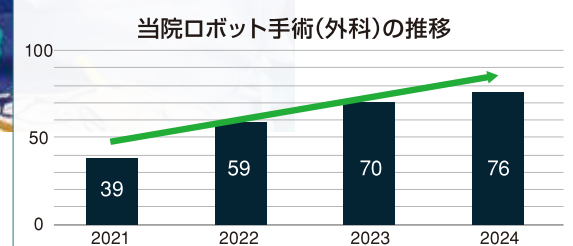
「シームレスな連携が

最大限の価値を提供します」

当科での対象疾患は食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、直腸まで全てに対応しています。低侵襲手術に力を入れており、進行がんにおいても鏡視下手術を基本としています。また食道、胃、大腸に関してはロボット支援手術を積極的に行っています。年間のロボット手術件数は年々増加傾向であり、70件程度となっています。消化管がんの年間の手術件数は、胃がんは50件、大腸がんは130件、食道がんは10件程度実施しています。食道がん、直腸がんに関しては症例に応じて術前治療を施行してから手術を行うなどの集学的治療も行っています。また転移、再発

などした場合も、その後の化学療法、放射線療法や緩和ケアなども消化器科、放射線科、緩和ケア科、病理診断科などの他科と連携

を行いながら、最適な治療を提供できるように努めています。



地域の連携医療機関さまへメッセージ

当科では消化管に関しては幅広く対応させていただいております。胃、大腸だけでなく、食道疾患に対しても力を入れており、食道がんの手術に関しては、旭川市内で手術をうけたいという声をお聞きすることもあるので、そういった患者さんの声にできるだけだけ答えさせていただきたいと思っています。

地域の医療機関の皆様としっかりと連携し、患者さんにより良い医療を提供したいと思っています。

再発



外科部長 石川 隆壽

専門／消化管

- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・日本消化器病学会専門医・指導医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
- ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon
- ・日本ロボット外科学会
Robo-Doc Pilot 国内A級認定

健診から緩和ケアまで。あなたに寄り添う、
切れ目のない乳腺ケア

乳 腺

当科では、乳腺疾患全般を対象に、診断から手術、術前・術後の化学療法、ホルモン療法、放射線治療、さらには緩和ケアまで、切れ目のない一貫した治療を行っています。

乳がんをはじめとする乳房の悪性腫瘍（乳腺肉腫など）、境界悪性腫瘍（葉状腫瘍など）、炎症性乳腺疾患（乳輪下膿瘍、授乳期の乳腺炎）、乳頭分泌異常など、幅広い疾患に対応して

います。

また、一次健診後の精密検査にも対応しており、治療方針に関するセカンドオピニオンも随時受け付けています。

患者さん一人ひとりの状況に合わせ、丁寧な説明を心がけており、安心して治療を受けていただけるよう、チームで支えながら最適な医療の提供に努めています。

「早期発見・正確な診断 幅広い疾患に対応。」

地域の連携医療機関さまへメッセージ

令和7年秋で定年を迎えられる副院長赤羽弘充先生の推挙を受け、令和7年4月より外科および乳腺外科主任部長を拝命した芝木泰一郎です。今後ともよろしくお願いいたします。

令和7年秋で定年を迎えられる副院長赤羽弘充先生の推挙を受け、令和7年4月より外科および乳腺外科主任部長を拝命した芝木泰一郎です。今後ともよろしくお願いいたします。

わが北海道とりわけ旭川市は乳がん検診の受診率が全国的に見ても極めて低い地域であります。そのような地域背景のなか、紹介元となっていただけの医療機関様におかれましては、低い検診受診率を少しでも底上げ・カバーしていただけるよう働きかけのほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

Your Health, Our Priority

診断から治療まで、切れ目のない
乳腺医療を地域と共に。

乳腺疾患に関しては、我々以外にも専門医取得に向けローテーションで大学医局より派遣され、主に消化器外科を志望している若いドクターたちにも、積極的に診療に従事していただいております。ご紹介に際しては極力患者さんのスケジュールに合わせたの受け入れを第一としておりますので、まずは当院地域連携室へ遠慮なくお問い合わせいただければと存じます。

乳腺外科 主任部長 芝木泰一郎

専門／乳腺

- ・日本外科学会指導医
- ・日本外科学会専門医
- ・日本乳癌学会認定医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医師
- ・インフェクションコントロールドクター

肺

Your Health, Our Priority

胸腔鏡からロボット手術まで
地域に選ばれる信頼の
呼吸器外科診療を目指して。

地域の連携医療機関さまへメッセージ

肺がんが疑われる症例では呼吸器科へのご紹介が多いかと思いますが、気胸、縦隔腫瘍、膿胸など、外科的治療の適応判断にお

困りの際は、どうぞお気軽に当科へご相談ください。物理的に受け入れが困難な場合を除き、原則として当科で対応させていただきます。

きます(手術中や担当医不在の際はご容赦ください)。また、外来診察日以外でも緊急性を要する場合は、ご連絡をいただければ可能な限り対応いたします。今後とも地域の先生方との連携を大切にし、患者さんに最善の医療を提供できるよう努めてまいります。

当院呼吸器外科では、肺がん、気胸、縦隔腫瘍、膿胸など、幅広い呼吸器疾患に対する外科治療を提供しています。呼吸器内科との密接な連携のもと、患者さん一人ひとりに最適な治療方針をご提案し、安心して治療を受けていただける体制を整えています。また、身体への負担が少ない胸腔鏡手術やロボット支

援手術を積極的に導入し、回復の早さと安全性の向上に努めています。さらに、術前・術後のリハビリテーションにも力を入れており、患者さんがより早く日常生活に復帰できるようサポートしています。信頼できる医療と温かなケアで、地域の皆さんの健康を支えます。



呼吸器外科 主任医長 石橋 佳

専門/肺

- ・日本外科学会専門医
- ・日本乳癌学会専門医・指導医
- ・呼吸器外科専門医
- ・日本救急医学会専門医
- ・検診マンモグラフィ読影認定医師
- ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon

理念

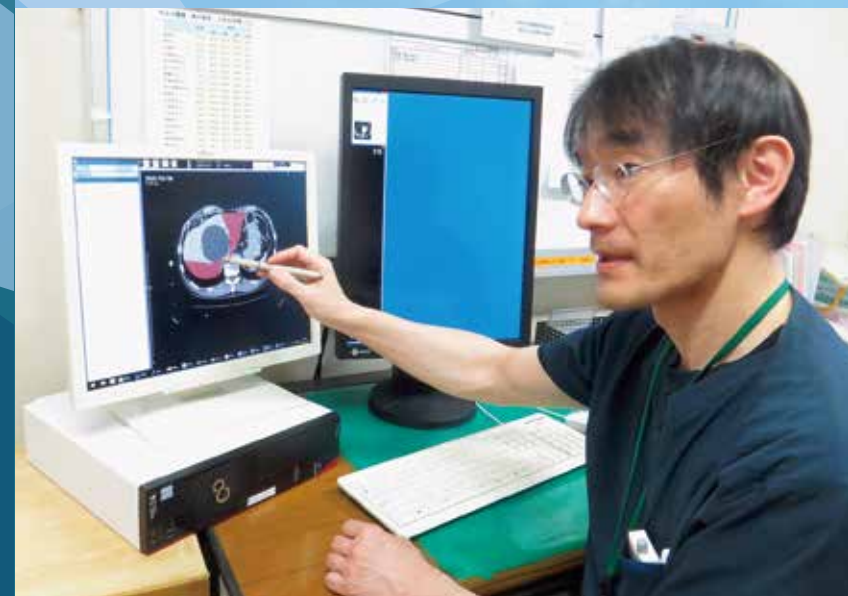
私たちは、
「最も信頼され選ばれる」病院をめざします。

患者さんの権利を尊重し、
いつでも安心して受けられる医療の提供に努めます。
地域住民の健康を守り、農村・地域社会の発展に寄与いたします。

基本方針

1. 患者中心の医療と安全・快適な療養環境をつくります。
2. 高度医療を推進するとともに、総合周産期医療の確立に努めます。
3. 医療機関相互の機能連携を推進いたします。
4. 職員の教育・研修を推進いたします。
5. 経営基盤の強化を図り、健診事業の充実と医療・保健・福祉活動を通じて地域に貢献いたします。

外科スタッフ新体制のご紹介



植木 伸也
診療部長

- プロフィール
- ・日本外科学会専門医・指導医
 - ・日本消化器外科学会専門医・指導医
 - ・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
 - ・インフェクションコントロールドクター
 - ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon
- 卒業
- ・1998年 北海道大学
 - ・2007年 北海道大学大学院



芝木 泰一郎
主任部長

- プロフィール
- ・日本外科学会指導医
 - ・日本外科学会専門医
 - ・日本乳癌学会認定医
 - ・検診マンモグラフィ読影認定医
 - ・インフェクションコントロールドクター
- 卒業
- ・1992年 旭川医科大学
 - ・2000年 旭川医科大学大学院



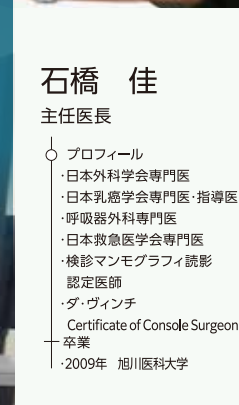
腰塚 靖之
主任部長

- プロフィール
- ・日本外科学会専門医
 - ・日本移植学会専門医
 - ・日本肝臓学会専門医
 - ・日本消化器外科学会専門医
- 卒業
- ・2002年 北海道大学
 - ・2011年 北海道大学大学院



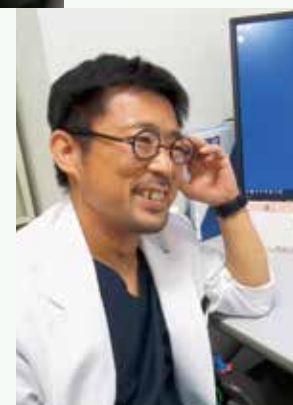
石川 隆寿
部長

- プロフィール
- ・日本外科学会専門医・指導医
 - ・日本消化器外科学会専門医・指導医
 - ・日本消化器病学会専門医・指導医
 - ・日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員
 - ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon
 - ・日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 国内A級認定
- 卒業
- ・2007年 北海道大学
 - ・2018年 北海道大学大学院



石橋 佳
主任医長

- プロフィール
- ・日本外科学会専門医
 - ・日本乳癌学会専門医・指導医
 - ・呼吸器外科専門医
 - ・日本救急医学会専門医
 - ・検診マンモグラフィ読影認定医
 - ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon
- 卒業
- ・2009年 旭川医科大学



谷 道夫
医長

- プロフィール
- ・日本外科学会専門医
 - ・日本消化器外科学会専門医
 - ・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
 - ・日本内視鏡外科学会技術認定医
 - ・ダ・ヴィンチ
Certificate of Console Surgeon
- 卒業
- ・2011年 北海道大学
 - ・2021年 北海道大学大学院



井原 一樹
医長

- プロフィール
- ・日本外科学会専門医
 - ・Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant
 - ・BLSプロバイダー
 - ・ACLSプロバイダー
 - ・MCLSプロバイダー
- 卒業
- ・2018年 旭川医科大学



佐々木 春菜
医員

- プロフィール
- ・Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant
 - ・検診マンモグラフィ読影認定医
- 卒業
- ・2020年 北海道大学



津坂 隼也
医員

- プロフィール
- ・卒業
 - ・2021年 北海道大学



牧野 開
医員

- プロフィール
- ・卒業
 - ・2021年 旭川医科大学

